

後援会ニュース

発行責任者
平田 益男
TEL 24-0742

消費税反対、憲法9条を守り
後期高齢者医療制度の撤廃と住民の
暮らし・教育の向上を願う日本共産党
山内さとる市議 (22-5971まで)

山内さとるの

ホームページ

<http://www.yamauti.info>

生活情報を掲載

バラマクお金があるなら福祉施設の充実に！

悲鳴をあげる要介護待機者と障害者自立支援法の応益負担

半田市の人口は114,987人(07年)14歳までが16.3%、64歳までが66.7%、65歳以上は17%で下図のように12年から17年度にかけて高齢者の比率のみが増加しています。

半田市での介護施設入居待機者は360人を超えています。

寺町に住む90歳を超える老夫婦、最近、奥さんの痴呆が進み老々介護が難しくなり施設への入居をヘルパーさんへお願いした。

ところが民間施設しか入居できない、入居すると費用が18万円位掛かると聞き入居は諦めたと話された。

2兆円もバラマクお金があるなら何故福祉や介護にお金をまわさないのだろうか。これから進む高齢化社会、お年寄りが安心して老後が過ごせるような政治を望みたいと思います。



市民の要望次々解決

街路灯の修理や側溝の整備など市民の要望を市に届け、生活相談を解決する
山内市議

右上 = 雑草に覆われ障害者(車イス)通行が出来なかった歩道を整理。 = 右下
左上 = 泥水の流れる道路を舗装し完了 = 左下



障害者自立支援法の応益負担は撤回を！

10月、全国から応益負担撤回を求める集会在東京で開かれた。

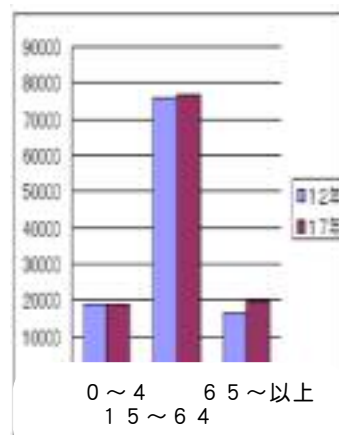
「応益負担」は福祉や医療サービスを利用した障害者が利用費用の一割負担をする制度ですが障害が重いほどサービスも増え負担も重くなります。

2005年10月、自民、公明が賛成して成立しましたが共産、民主、社民は反対しました。

提訴した原告団の一人は施設で月8千円働き、7千5百円の利用料を負担していると言います。

誰が考えてもおかしな制度です、障害者の生きる権利すら奪うものではないでしょうか。

半田市の人口推移と
高齢者の人口
12・17年度比較



定例市議会開催のお知らせ

12月定例会が12月9日(火)~19日(金)まで開かれます。

傍聴はどなたでも出来ます、議会事務局までご連絡下さい。

後援会総会開催を予定

1月25日(日)午後1時予定
宮池会館

文化行事も予定します、ご希望がありましたらご連絡下さい。事務局



10月4日の市政報告会でいろんな疑問や質問が出されました。

選挙が近く行われると予想される中で三つの疑問について簡単に説明いたします。

一つは 共産党は良いことを言っているのになぜ伸びない？

○ 共産党の得票数や率はそんなに減っていません。2大政党制のキャンペーンの中で自民や民主は自党の有利なように選挙制度を変えています。音やビラ配布を制限し国民の知る権利を奪っているのです。

全て比例制度にすれば得票数に応じた議席が配分されるのですが小選挙区では当選者以外の票は全て死票となります。

二つ目は他の党は政党助成金を受け取っているのになぜ受け取らない？

○ 憲法で保障された個人の思想・信条を侵しているからです。毎年320億円が支払われている政党助成金は最大のムダ使いです。

三つ目は党名を変えたら良いのでは？

○ 共産党は1922年に生まれて86年、一貫して戦争に反対し、民主主義を守り、労働者の権利を守るために闘ってきました。戦前の拷問や弾圧に耐えた小林多喜二など、むしろ誇り高いものと見ています。企業や団体献金を一切受け取らず、国民の立場で物が言える政党は他にありません。だから煙たいのです。

